

授業改善等に関する報告書（2022 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (前期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
アパレルデザイン基礎	川上 梅	本科目名は「アパレルデザイン基礎」ですが、衣料管理士養成科目「アパレル設計論」に該当し、授業内容は多岐に亘っており科学的な視点がほとんどです。「授業内容を十分に理解できた」は31.8%、「授業内容をほぼ理解できた」は22.7%で計54.5%と、決して高い数字とはいえず、少々残念ですが、私の最後の講義となります。
アパレルデザイン基礎実験	川上 梅	この授業を履修した理由の「授業内容に興味があったから」が82.1%、「この科目(分野)をさらに学びたいと思いましたか」に「とてもよくあてはまる」が82.6%という数字に、皆さんが授業後も残って実習を続けていた姿が思い出され、担当者としては嬉しく思います。
インテリアコーディネート演習	山口 照也	まず、課題Ⅱの採点結果についてコメントします。 担当教師としての純粋なA評価以上は1名(50%)でしたが、他1名もA評価に近いB評価でした。 後期授業開始前までに返却する「学生評価表」や「山口の講評」の中のコメントの通り、プラス評価部分とマイナス評価部分があるので、今後の参考にしてください。 皆さんの個性は作品に現れており、全作品とも魅力的でした。 アンケート結果については、次のようにコメントします。 ①「自由記述」に2つのコメントがありましたが、2つとも好評価の内容でした。 ②アンケート各項目では、「理解度」と「意欲的取り組み」以外はほとんど当該区分平均や全体平均より高い数値でした。 授業で行った演習が、これからの学びや生活そして仕事等に役立つことを願っています。 半年間、ありがとうございました。
インテリアデザイン演習	山口 照也	まず、課題Ⅱの採点結果についてコメントします。 担当教員としての純粋なA評価以上は2名(6%)でしたが、皆さんの学生評価も加味したA評価以上は10名(30%)です。D評価はいませんでした。未提出者(失格)が1名いたのが残念です。昨年からA評価取得率が大きく下がっています。一昨年前までの設計製図の課題提出と重なっていたので条件は同じだったのですが、設計製図に力を入れた結果こちらの課題が疎かになったのだと想像しています。 毎年、皆さんの提出図面を細かくチェックし、良くない部分だけでなく、良い部分も見つけて、「山口の講評」としてまとめるようにしています。「学生評価」と共に、皆さんの作品に対する様々な意見や感想が述べられているので、今後の参考にしてください。 アンケート結果については、次のようにコメントします。 ①「成長の実感記述」に8点のコメントがありました。8点とも好評価の内容でした。 ②「自由記述」に2点のコメントがありました。2点とも好評価の内容でした。 ③アンケート各項目では、すべての項目が当該区分平均や全体平均より低い数値で、昨年よりも悪くなってしまったようです。今年度から加わった「意欲的取り組み」が当該区分平均や全体平均より低い数値だった事も含め、「成長実感度」と「満足度」が昨年よりも悪くなった事を真摯に受け止めて改善していく必要があると感じています。
テキスタイル管理学	塩原 みゆき	説明資料について、できるだけ分かりやすく、また、今後、社会に出た時に役に立てる内容で作っているつもりだったが、履修する2年生にとっては、少し難しい箇所もあったかもしれない。配布資料をさらに見直し、理解しやすい内容にしていきたい。
テキスタイル管理実験	塩原 みゆき	授業内容については、履修した学生さんがしっかり理解していると自覚できていることを知れた。また、実験についての説明方法など、概ね、了解されていて、今後、さらなる実験実習のブラッシュアップを図りたい。
テキスタイル材料実験	加藤木 秀章	テキストを読み返したり、図書館などで文献検索などするとより高度な学修効果が得られます。
デザイン基礎演習 a	塚原 肇	授業内容は理解できましたか。 スケッチは描けば描くほど目に見えて上達します。 今後も続けて練習してください。
デザイン史	塚原 肇	デザインの歴史を知ることは大変重要です。 先人がどのようにデザインを捉え進化させていったかを知ることにより今後のあなた方の進む方向が見えてきます。授業を通して興味を持ったデザイナーや作品があれば進んで調べてみてください。

[2022 (前期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
ファッションビジネス演習	大川 知子	3ヶ月半の授業、金曜日の5限で、また課題も多く、大変だったと思いますが、みなさん、積極的に参加いただきました。アンケートの回答数が半分に留まりましたので、この結果から全体については語れませんが、成長を実感できたり、この分野への興味を抱いていただけたようで良かったです。
ファッションビジネス論	大川 知子	3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。また、アンケートの協力、ありがとうございます。いただいたコメントを拝読すると、新たな知識を得たほかに、「これからは、新しいモノの見方ができそう」との嬉しい内容もあり、14週の授業は学生のみなさんはもとより、我々教員も大変ですが、充実した内容になったようで安堵しました。これからも五感を駆使して、積極的にいろいろなことに目を向けて下さい。
プロダクトデザイン論	塚原 肇	プロダクトデザインの概要は理解できましたか。使用した教科書をデザインの辞書代わりに活用してください。そして是非、プロダクトデザイン検定1級にチャレンジしてください。
ユニバーサルデザイン論	塚原 肇	ユニバーサルデザインは建築、アパレル、プロダクトなど全てのデザインの基礎になります。しっかり理解して、常にUDを意識したデザインを行ってください。特に今年のようなコロナ禍ではUDは重要度を増します。
家庭工学	加藤木 秀章	現在でも家電製品が多くなってきている暮らしが進んでおり、身近に恩恵をうけていることを実感するとより学修効果があります。
感性と生活情報システム	佐藤 健	たまたま少人数で、メタバースの教育訓練が私には記憶に残っています。感性は、記憶とのリファレンスです。学生生活の間に、記憶をたくさん増やしてください。
建築・インテリア構法	内藤 将俊	木構造や鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造に加えて、各部構法などの一般構造分野の基礎を総合的に扱う講義でした。広範囲に及ぶ学問であったにも関わらず最終試験結果が良好であり、レポート課題も含めて多くの受講生が意欲的に取り組んで下さったと思います。
建築概論	植 究	全体に平均的な評価。その中で、成長実感と、さらに学びたいとの想いは高評価。課題も多めだし、大変なところもあったと思いますが、それを成長に結びつけてくれたのかなと思います。一方、理解度が低かったのは課題です。次年度に向けて何らかの改善を思いました。※コメントに設計製図のことがいくつか触れられていたので、その辺りを中心にして取り組んでみます。
建築法規	橋 弘志	途中で対面や双方向に切り替えることなく、3年ぶりに最後まで対面で授業を進められた。教室が大きかったせいか、後ろのほうに座る学生は理解度はやや低下していたかもしれない。manabaの小テストは、総点数だけでなく、各問の点数が表示されるようになると良い。
工業デザイン概論	山崎 和彦	この種の教育では座学と実習をセットとするのがよい。できれば木工、金工、ガラス加工を体験させたい。芸術を抜きにして（これが為に時間を取られてはならない）次々に体験させるのである。本学科には工房があるが、あと3つほどは欲しい。
住環境デザイン論	内藤 将俊	大別して3つのカテゴリーに分けて講義を行いました。「住環境デザインの設計手法基礎」や「近現代の優れた建築作品解説」、そして「現代の最先端住環境デザイン分析」の各々の回での創造性を必要とするレポート課題に対して、多くの方々が想像を膨らませた提案を行って下さいました。引き続き、積極的にデザインに取り組んでください。
住居学	橋 弘志	各回授業の後の小テストに対して、学生の良く書いている回答を例として掲示板に提示したことで、授業を振り返る上で良いきっかけになったようである。また例年に倣い、寄せられた質問・疑問に対してはすべて、次の授業の冒頭で解説を行うことにしているが、授業の復習という意味で無く、気軽にいろいろな質問できる機会として肯定的に捉えられていたようだ。
人間工学実験	佐藤 健	機材の関係で、脳波計測を多く行いました。広く深く実験データに取り組みました。
生活環境学セミナー	塩原 みゆき	3年生の生活環境学セミナーについては、アンケートの記入をアナウンスしなかったが、回答した学生は、内容について理解されていた。後期に向けては、前期と違って、文献を読み、これをまとめて発表するという内容になるので、しっかり学生個々が成長を実感できるように、工夫をしていきたい。

[2022 (前期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
生活環境学セミナー	加藤木 秀章	だんだんと難しくなる内容が含まれてきますので、自主勉強などを含めるとより効果が得られます。
生活環境学セミナー	山崎 和彦	意見を発するべき場にあって全体がシーンとなっているとき、独自に踏み出す性格の者が成功するだろう。諸君は指名すれば雄弁に語る事が出来るのであるから、後期のゼミは、大いに賑わって欲しいものである。
生活環境学セミナー	川上 梅	前期は、常磐祭での発表に向け、ゼミ長をリーダーとして学生の皆さんが主体的・計画的に作業に取り組んできました。各自が自分の長所を出し合い協働力を身に付ける、よい機会になっていると思います。
生活環境学セミナー	大川 知子	3ヶ月半の研究室活動、お疲れ様でした。アンケートのお願いをしたのですが、ほんの4名の回答のみで残念です。後期は忘れずお願いします。前期のリメイクのプロジェクトも、何とか製作依頼まで辿り着き、後期の完成が楽しみです。後期は、いよいよ「産学プロジェクト」など、さらに多くの課題が待ち受けていますが、皆で相談しながら、力を合わせて進めていきましょう。
生活環境学セミナー	塚原 肇	前期は椅子作りを行いました。初めての本格的なプロダクトデザインでしたが思い通りのデザインができましたか。今回はデザインのプロセスを習得することが目的でした。このプロセスを2023年度の卒業制作に活用してください。
生活環境学セミナー	楨 究	大変なところもあったけれど、頑張ったので、成長も実感できた。そんな感じでしょうか。→後期も、お互いに頑張りましょう。
生活環境基礎 a	加藤木 秀章	現在の社会は情報や数学が利用されています。学問や学術を学ぶことでより高度な知識を得られますが、自主的な勉強も必要です。学内外の図書館などにも多くの数学の本があるので、見てみるとより効果が得られます。
生活空間計画	橋 弘志	個人住宅以外のさまざまな建物について、歴史的経緯から現在の造り方に至るプロセスを追いながら、施設の計画論に触れることを心がけた授業である。100分授業×14週のペースにまだうまく載せられていないところがあるので、内容の調整を検討したい。
生活空間設計製図 1	内藤 将俊	初めての本格的な設計作業であったと思います。創造性を求められる課題に対して戸惑いもあったでしょうが、意欲的にエスキスに取り組み、結果的に完成度の高い建築が非常に多く見受けられました。生活空間設計製図Ⅱ、Ⅲでも引き続き積極的に設計活動に取り組んでもらいたいです。
生理人類学	山崎 和彦	とかく学生諸君は多忙であるから、ノンフィクションを読む時間がない。私は関係する書籍を10冊ほどを積み上げ、土曜から日曜にかけて新たに読んだり、再読したりする。そして骨格部分を語る。学習者にとって非常に効率がよいと思っているが、有難みを覚ええないのか、あまり手応えを感じない。学生諸君が40歳くらいであったら、面白く感じて下さるのではないかなと思うが、独りよがりだろうか。
設計製図基礎	橋 弘志	今年は受講人数も多かった上に、コロナ禍で教室の人数が制限され、2教室をzoomで繋いで説明を配信する、という初の形式での授業となった。授業中に個別のチェックをしていくのが難しかったが、昨年使用したオンデマンド用の動画を配信したことで、授業中だけではついていけなかった場合でも、後から参考にする事ができたようだ。この授業で培ったスキルを、今後の設計製図などの授業で活かしてもらえることを期待する。
設計製図基礎	橋 弘志	授業中に個別のチェックをしていくのが難しかったが、昨年使用したオンデマンド用の動画を配信したことで、授業中だけではついていけなかった場合でも、後から参考にする事ができたようだ。この授業で培ったスキルを、今後の設計製図などの授業で活かしてもらえることを期待する。
染色加工学	塩原 みゆき	少し難しい内容かもしれないと心配しながら半期の授業を行ったが、履修した学生のほとんどが1時間目の授業を休むことなく、まじめに履修してくれた。また、内容についても概ね理解しているようで、ほっとした。今後は、授業内容についても少し見直しも含め、検討していきたい。
繊維高分子材料実験	加藤木 秀章	この授業の経験・体験を少し思い出すと、他の授業でもよりわかりやすくなります。

[2022 (前期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
伝統衣服実習	川上 梅	私にとって最後の浴衣製作の授業でした。「総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」「この科目(系・分野)をさらに学びたいと思いましたか?」に対し、「とてもよくあてはまる」が100%という数字を嬉しく思います。浴衣も今日では非日常的な衣服になりましたので、「入学前からこの授業を履修することが楽しみでした」という感想もありました。